

科目名	単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
地理探究	前期	2	2年次以降	選択	12	3	6
	後期	2			12	3	6
使用教科書	東京書籍 701 地理探究						
科目の概要	世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、諸地域の特色や課題などを理解し、地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけます。また、地理的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、効果的に説明する力も養います。						
年間 学習 計画	学習内容		学習のポイント		面接指導	添削課題	
	・地理探究へのステップ ・世界の地形 (P5～P33)		○世界の地形について理解し、判断することができる。		前期 1・2	No.1	
	・気候と自然環境 ・気候と人々の生活 (P34～P59)		○気候と自然環境、気候と人々の生活について理解し、判断することができる。		前期 3・4	No.2	
	・日本の自然環境と自然災害 ・世界の環境問題 ・産業の発展と社会的分業		○日本の自然環境と自然災害、世界の環境問題、産業の発展と社会的分業について理解し、判断することができる。		前期 5・6	No.3	
	・農林水産業・食糧問題 ・エネルギーと鉱産資源 (P86～P111)		○農林水産業、食料問題、エネルギーと鉱産資源について理解し、判断することができる。		前期 7・8	No.4	
	・資源・エネルギー問題 ・工業立地と工業地域の変容 ・第三次産業 (P112～141)		○資源・エネルギー問題、工場の立地と工業地域の変容、第三次産業について理解し、判断することができる。		前期 9・10	No.5	
	・交通、通信、貿易、観光 ・人口 (P142～P163)		○交通・通信、貿易と経済連携、観光、人口について理解し、判断することができる。		前期 11・12	No.6	
	・村落、居住・都市問題 ・生活文化の地域性 (P164～P191)		○人口問題、村落・都市、居住・都市問題、生活文化の地域性について理解し、判断することができる。		後期 1・2	No.7	
	・民族・言語・宗教 ・現代の国家と領土問題 ・地域区分の意義と方法		○民族・言語・宗教、民族問題、現代の国家と領土問題、地域区分の意義と方法について理解し、判断することができる。		後期 3・4	No.8	
	・東アジア、東南アジア ・南アジア (P216～P243)		○東アジア、東南アジア、南アジアについて理解し、判断することができる。		後期 5・6	No.9	
	・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南アフリカ ・ヨーロッパ (P244～P265)		○西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ、ヨーロッパについて理解し、判断することができる。		後期 7・8	No.10	
	・ロシア、アングロアメリカ ・ラテンアメリカ (P266～P287)		○ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカについて理解し、判断することができる。		後期 9・10	No.11	
	・オセアニア ・持続可能な国土像の探究 (P288～P313)		○オセアニア、北極・南極、日本の地域構造の変化、持続可能な国土像の探究について理解し、判断することができる。		後期 11・12	No.12	
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）						
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各3時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各6回提出してください。 ・2年次以上で4単位修得します。						